

## スマートウエルネスみしまの推進

アナ： 「市長が語る 2025 三島」第 8 回の今日は、「スマートウエルネスみしまの推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

**市長：** よろしくお願ひします。

アナ： 「スマートウエルネスみしま」は豊岡市長が就任以来、長年、推進されてきた重要な取り組みだと思いますが、まず、進めていくこととなった背景から教えてください。

**市長：** はい。市長就任当時、少子高齢化やライフスタイルの変化などによる健康リスクの増大、地域の担い手不足による地域のつながりの希薄化、労働力不足などによる社会経済の縮小など、多く地方都市で懸念される共通の課題があり、三島市においても、持続可能な都市づくりや地域活性化に取り組んでいく必要がありました。

そこで、三島市では、あらゆる分野に健康の視点を取り入れた「スマートウエルネスシティ構想」による、人もまちも産業までも、健康で元気なまちづくりに取り組んでいくこととしました。

アナ： 取組にはどのようなものがあるのでしょうか。また、その成果はいかがでしょうか。

**市長：** 具体的な取り組みは、スマートウエルネスみしまアクションプランという 3 年間の計画を策定して進めており、昨年度、第 4 期プランが終了したところです。「健康づくり」の分野では、歩いて楽しいまちの環境づくりに取り組むとともに、健幸マイレージや健幸づくりアプリ KENPOS など、ポイントというインセンティブにより健康づくりを促す仕組みづくりのほか、ヘルシーレシピの共同開発と情報発信、地産地消など、食を通じた健康づくりにも注力してまいりました。

「いきがい・きずなづくり」の分野では、見守り体制の強化や通いの場の充実など、高齢になっても住み慣れた地域で元気に暮らすことができる地域づくりに努めてまいりました。

「地域活性化・産業振興」の分野では、ふじのくにフロンティアプロジェクトや健康経営支援、スポーツによるまちづくりなどを進めております。

平成 22 年度に県内ワーストワンであった「高齢者の市民一人当たりの医療費」は、大幅に改善し、介護認定率も低水準を維持していることなどは、これまでの取り組みの成果と考えております。

アナ： 様々な取り組みがあり、本当に幅が広いプロジェクトなのですね。先ほど、第 4 期プランが終了されたと伺いましたが、第 5 期プランはもう始まっているのでしょうか。

**市長：** はい。本年3月、第5期プランを策定いたしました。

**アナ：** どのような内容なのか、簡単に教えてください。

**市長：** 第5期プランでは、6つの重点プロジェクトを掲げております。

例えば、スポーツにより市民を100歳まで歩けるようにしていくことを目標に、

官民が連携して取り組んでいく「歩ける100歳プロジェクト」や、

女性の健康リテラシーの向上や、家庭・地域・企業などにおける

女性の健康課題への理解促進を図っていく「スマート女子応援プロジェクト」、

地域イベントの企画や継続的に実施する仕組みづくり、それらを支える

人材育成を同時に進める「コミュニティデザインみしまプロジェクト」など、

これまでの成果や新たな課題を踏まえたプロジェクトを、

部署横断的なチームで、民間企業とも連携しながら取り組んでまいります。

**アナ：** プロジェクトのネーミングにも特徴があって、どのように展開していくのか楽しみですね。

**市長：** はい。市民一人ひとりのご参加とウェルビーイングの実現を目指して、チームみしまで取り組んでまいります。

**アナ：** 豊岡市長、本日はありがとうございました。

**市長：** ありがとうございました。